

あさひ環境通信 vol. 15

9月号 発行日:平成28年9月10日

発行:朝日メンテナンス工業(株) 統轄本部 総合企画部

秋田の世界的バイオ企業「(株)秋田今野商店」の 今野社長が来社されました！！



秋田県大仙市刈和野の世界的バイオ企業である「(株)秋田今野商店」の社長・今野宏さんが来社されました。目的は、当社の「CSRコミュニケーションブック」に掲載する「トップ対談」の取材にお越しいただいたもので、約1年半ぶりの来社になりました。対談場所は近日中に建替え予定の名古屋市中区伏見の「東鮎本店」でおこないました。

今野さんには、平成23年4月以来「バイオケアシステム®」の基本システム設計に多くの助言を受けました。その当時のことですが、今野さんが当社に来られ、「本当に真剣に取り組む覚悟があるか」との確認をされたこともありました。当社は「脱洗剤」「脱汚水」「脱悪臭」の三つの「脱」戦略を立てており、必ずバイオ(微生物)の特長を使ってシステムを作り上げると約束をしました。あれから血のにじむような歳月は当社にとって重い学習と開発の時間になりました。当社の「理念」と「技術」に理解をもってくれるバイオリアクターメーカーを探したり、検証データを分析・解析する研究機関を探したりと全く違う分野との接点を見つけることでした。幸いにも、鎌倉市の「(有)ホテイ産業研究所」、日進市の「名古屋学芸大学管理栄養学部」の協力の基に何とか今日を迎えることができました。今野さんからは「覚悟」を持つこと、諦めないこと、多様な考えと手段・方法を持つことを教えていただきました。心からの感謝の気持ちを書き添えます。



※今野社長(左)と当社 西協会長(右)

※東鮎本店にて

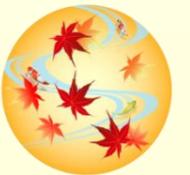


※今野社長(中央)と当社役員(左から林専務、井口取締役、西協会長、佐藤取締役)

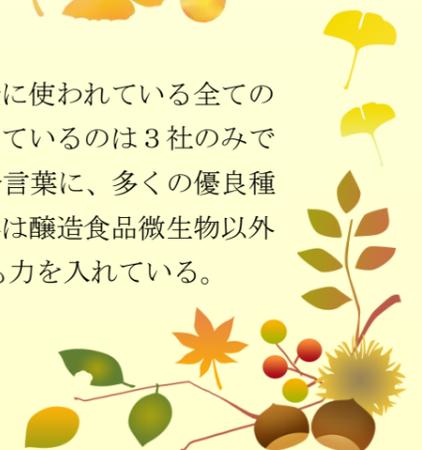
※東鮎本店にて

◇株式会社秋田今野商店のあゆみ

- 1910年 (明治43年) 京都で「今野商店」創業
- 43年 秋田で種麴の製造を始める
- 47年 秋田今野商店が分離独立
- 52年 第1回清酒麴鑑評会開催
- 73年 近代化した研究室落成
- 92年 清酒酵母の製造開始
- 2003年 今野宏氏が社長就任
- 10年 創業100周年を迎える
- 16年 本年 創業106年



清酒を造る際に必要な「麴菌」などの種麴を専門に製造。醸造に使われている全ての菌を作っている種麴業者は国内で10社あるが、全ての菌を作っているのは3社のみであり、同社はその内の1社である。創業以来「技術が資本」を合言葉に、多くの優良種麴・酵母・乳酸菌・酵素剤等を醸造界に供給し続けており、近年は醸造食品微生物以外の生物農薬原体や環境浄化用微生物菌体、研究用試薬の分野にも力を入れている。社是は「温古知新」。



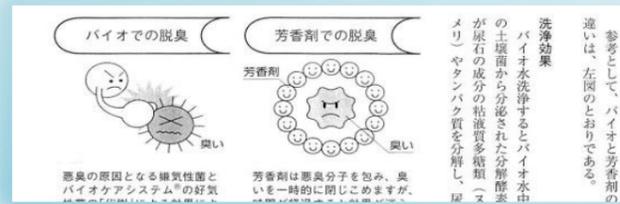
月刊誌「国立公園」7月号に掲載!

一般財団法人自然公園財団が発行し、広く公共団体や公共機関に配布されている月刊誌「国立公園」No. 745 (2016年7月号)に、当社の統轄本部渡邊部長による『トイレ清掃管理におけるバイオケアシテム®の取り組み』(環境対応型消臭システムの構築)が掲載されました。「脱洗剤」「脱汚水」「脱悪臭」を目指し、人と自然、環境に優しい清掃管理システムを構築してきた当社の基本的な考え方や経緯、「バイオケアシテム®」による消臭の仕組みなどについて、たいへん分かりやすく解説されています。



※国立公園7月号

今後も「100年後の環境を見据えた取り組み」を合言葉に、更なる人と自然、環境に優しい清掃管理システムの開発に取り組んでまいります。



※国立公園7月号P.22より一部抜粋



「バイオケアシテム®」のLCA報告書が完成!



※LCA報告書

当社で管理している大型商業施設において「従来型清掃システム(洗剤と大量の水を使用)」と「バイオケアシテム®(バイオと少量の水を使用)」での清掃を比較した場合、「バイオケアシテム®」による清掃の方が**CO2の排出量を年間63.7%削減**し、環境負荷の軽減に大きく貢献できることがデータで証明されました。

(株式会社フルハシ環境総合研究所でのインベントリ分析結果による。)

項目	単位	バイオケアシテム®	従来型清掃システム	削減率
CO2(化石資源由来)	kg	281.8	776.7	△63.7%
BOD(生物化学的酸素要求量)	kg	0.0035	0.0057	△38.6%

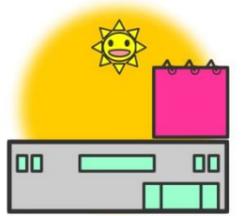
※LCA報告書より表を一部抜粋

※LCA(ライフサイクル・アセスメント)とは、製品を、製造—使用—廃棄/再利用のそれぞれの段階ごとにエネルギー投入量、材料使用量、二酸化炭素排出量、環境汚染物質排出量などを分析し、環境への影響を総合的に評価する方法。

大手外資系家具店様で

「バイオケアシテム®」が正式導入されました!!

大阪市の大手外資系家具店様の従業員トイレにて、「バイオケアシテム®」導入のデモンストレーションを実施していましたが、お客様から高い評価をいただき、このたび正式に導入されました。



※イメージイラスト

尼崎リサーチ・インキュベーションセンタービル様で

「バイオケアシテム®」のデモンストレーションを開始しました!

「朝日 バイオ・DNA解析研究所」が入居している尼崎リサーチ・インキュベーションセンタービル様(兵庫県尼崎市)内のトイレにて、デモンストレーションを開始しました。本格導入に向けて「オンサイトDNA検査キット」も含め、検証・評価を実施していきます。



※イメージ写真

英文のウェブサイト完成!

ホームページの英語版が完成しました。ホームページ右上のアイコン「English」からご覧いただけます。右のQRコードからも入れます。ぜひ、一度ご覧ください。



※ホームページ英語版QRコード

安全推進委員会からのお知らせ

9月21日(水)から9月30日(金)まで、秋の全国交通安全運動が実施されます

《運動の重点》

- 子どもと高齢者を交通事故から守ろう
- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故をなくそう
- 後部座席を含めた全ての座席でシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう
- 飲酒運転を根絶しよう



通勤時・プライベートともに、事故に遭わぬよう、起こさぬよう「交通事故ゼロ」に向けて、お互いに声を掛け合い、意識を高めましょう!

※愛知県中警察署配布資料より

編集後記

地球温暖化の影響なのか、台風や大雨の動きが変だ。特に北海道や東北などが狙われたように被災した。当社の安全衛生委員会で、急な河川の氾濫での、逃げ切れない状況をどうしたら良いかという課題が上り、瞬間的な判断しか、命を守ることができないという結論になった。確実な避避行動の訓練も指示も難しい。自然の脅威に唾然とする。(口)